

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●1回小倉競馬リーディングジョッキーは丹内祐次騎手

3月1日(日)をもって1回小倉競馬が終了し、11勝・2着16回の成績を残した丹内祐次騎手(美浦・フリー)が、11勝・2着2回の斎藤新騎手を抑えて開催リーディングジョッキーとなりました。

●藤岡佑介騎手と和田竜二騎手が引退

2月28日(土)をもって藤岡佑介騎手(栗東・フリー/JRA通算1万2345戦1110勝)と和田竜二騎手(栗東・フリー/JRA通算2万2176戦1534勝)が引退しました。なお両名とも2026年度調教師免許試験(新規)に合格しており、3月1日(日)付で調教師免許が交付されています。

●調教師7名が引退、7名が新規開業

3月3日(火)をもって、美浦では国枝栄調教師(JRA通算9530戦1123勝)、小西一男調教師(JRA通算7563戦537勝)、土田稔調教師(JRA通算6788戦386勝)、根本康広調教師(JRA通算6420戦218勝)、南田美知雄調教師(JRA通算6345戦210勝)が、栗東では佐々木晶三調教師(JRA通算7571戦680勝)と西園正都調教師(JRA通算8873戦749勝)が定年を迎え引退しました。これにともない美浦では秋本大介調教師、手塚貴徳調教師、平岩大典調教師、松尾卓哉調教師、室井潔調教師の5名が、栗東では柴田卓調教師、橋田宜長調教師の2名が3月4日(水)付で新規開業しています。

●武豊騎手のデビュー40年を記念した展示会を実施

1987年のデビュー以来、数々の大記録を打ち立て、いまなおJRA最多勝記録(2026年3月1日現在で4637勝)を更新し続けている武豊騎手(栗東・フリー)の騎手生活40年を記念する展示会が実施されることとなりました。年表や全G1勝利の写真パネル展示、オリジナル動画の放映などが予定されており、3月14日(土)から4月19日(日)の阪神競馬場を皮切りに、10月17日(土)から11月29日(日)の京都競馬場まで、全国10か所のJRA競馬場で実施(競馬開催日のみ観覧可)されます。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●スプリングC(名古屋)はアストラビアンコ[各地の主要3歳重賞]

スプリングC(2月26日、名古屋、1,700^円)は、大逃げを打った北海道から愛知への移籍馬アストラビアンコ(牡、父バゴ)が8馬身差で圧勝、単勝元返しの支持に応じてゴールドウイング賞、新春ベガサスCに続く重賞3連勝を達成しました。ユングフラウ賞(2月25日、浦和、1,400^円、牝馬)は、2番手から3、4コーナー中間で逃げ馬を交わした単勝1.2倍で圧倒的人気のアンジュルナ(父ティーズザロー)が後続を6馬身引き離し、ローレル賞、東京2歳優駿牝馬から牝馬限定重賞3連勝。兵庫若駒賞(2月26日、姫路、1,800^円)は、出遅れから5番手に取り付いた単勝1.6倍で断然人気のゴッドフェンサー(牡、父ルヴァンスレーヴ)が4コーナーで抜け出し、前走の園田ジュニアCに次ぐ2度目の重賞制覇を果たしています。

●ナルカミらが参戦、3月11日のダイオライト記念(船橋)

ダイオライト記念(JpnII、3月11日、船橋、2,400^円)は、ここ2戦は大敗も実績上位のナルカミが中心、以下ジャスパーロブスト、カズタンジャー、デルマソトガケ、セラフィックコール(川崎)、オディロン(兵庫)、グロリアムンディ(船橋)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1メルボルンC3連覇の名牝マカイビーディーヴァが死亡

オーストラリアを代表するレースであるG1メルボルンC(芝3,200^米)を2003年、04年、05年と制して、史上初となる同レース3連覇を果たした名牝マカイビーディーヴァ(父デザートキング)が2月28日に亡くなりました。疝痛によるもので、27歳でした。マカイビーディーヴァはメルボルンC3連覇のほか、コックスプレター(芝2,040^米)、オーストラリアンC(芝2,000^米)、シドニーC(芝3,200^米)、ザBMW(芝2,400^米)とG1に計7勝を挙げ、04/05年、05/06年には豪年度代表馬に選出。05年には日本に遠征し、エイプリルSとG1天皇賞(春)に出走しました(ともに7着)。重賞を制した産駒はいませんが、ディーヴァネーション(牝、14年生まれ、父オールトゥーハード)がリステッドで3着に入っています。

●G1香港ゴールドC～ロマンチックウォリアーが楽勝

3月1日に香港のシャティン競馬場で行われたG1香港ゴールドC(3歳上、芝2,000^米)はJ.マクドナルド騎手を背に3番手でレースを進めたロマンチックウォリアー(騾8歳、父アクラメーション、C.シャム厩舎)が直線で楽々と抜け出すと、昨年2着馬エンズードに4馬身差をつけて楽勝。このレース2年ぶり2度目となる優勝を果たすとともに、1月のG1スチュワーズC(芝1,600^米)、2月のこのレース、そして5月のG1チャンピオンズ&チャターC(芝2,400^米)で構成される香港三冠の完全制覇に王手をかけました。ロマンチックウォリアーはこれでG1・13勝目です。